

## ごみ処理広域化基本計画見直し（素案）への意見に対する回答

### 1 意見募集（12月28日から1月27日まで）で寄せられた意見

No.	意見の概要	回答
1	<p>ごみ焼却施設の基本方針 安全に配慮した施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却炉に付属して建設される灰溶融施設は、全国でたびたび爆発事故が発生している。また、高温で気化した重金属が蒸気とともに煙突から拡散する危険性も指摘されている。</li> <li>・溶融スラグの再利用については、課題が多い。埋立処分量に影響する可能性が高い。</li> <li>・灰溶融炉の建設については見直して頂きたい。</li> <li>・重金属が蒸気と共に拡散しないというデータを示していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・灰溶融設備はごみ処理システムの中では必要なものと考えています。</li> <li>    メリット</li> <li>    ① 灰の無害化と安定化</li> <li>    ② 溶融スラグ化することにより、路盤材等へ再利用可能</li> <li>    ③ 減容化でき、埋立処分量を減らすことが可能</li> <li>・灰溶融設備の事故の要因は施工や管理面での不具合であり、既に十分な原因究明が行われております。</li> <li>・ごみの中には微量ながら重金属が含まれている場合があり、灰を高温で溶融する工程で一部が排ガス中に気化するといわれていますが、高温で気化した重金属ガスはガス冷却設備で冷やされ、元の液体又は固体粒子となって排ガス処理設備等で捕集されるため、生活環境保全上の支障を生じるおそれはありません。</li> </ul>
2	<p>灰溶融炉建設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灰溶融炉は全国でも事故や故障が多いと聞いている。又、重金属の気化など環境汚染も指摘されている。灰溶融炉の建設計画は見直していただきたい。</li> </ul>	
3	<p>運営方式の検討 民間活力の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理および危機管理体制については、（静岡市の爆発事故のように）不測の事態に対して適切な対応が遅れる心配がある。民間に運営を任せることについては、慎重に議論して頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見として承ります。</li> </ul>

No.	意見の概要	回答
4	<p>PFI など民間運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 福知山線の事故や耐震偽装事件など、安全性を軽視し、コストを重視したなかでおきている。焼却場など中でも安全性、環境への配慮が不可欠なものである。コスト面を重視して安易に民間に運営を任せないで欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見として承ります。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却ごみは、一般廃棄物に限定されること。また廃プラスチックは混ぜないことを明記して頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本連合の施設は、一般廃棄物を対象とするものです。廃プラスチックは可能な限りリサイクルし、リサイクルできないものについて焼却しエネルギー回収を行います。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設の処理方式（ストーカ式焼却+灰溶融）の他の処理方式とのメリット・デメリット等は（住民に解りやすい説明を）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部会の中間報告、策定委員会の中間提言に記載されていますので、ホームページ等でご覧ください。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設地の住民の理解を得るため、安全・安心な施設の具体的な内容と発電・余熱利用の地元還元供給策の説明は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心、安全な施設につきましては、周辺の皆さんが安心して生活できるよう、事故のない、自然災害等にも強い施設とします。</li> <li>また、環境にやさしい施設として有害物質への対応を行い、周辺環境への配慮として臭気対策や緑化も行います。</li> <li>・余熱利用等については、今後地元の皆さんとの話し合いを通じて具体化していきます。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化の成果を市町村別に評価する施策を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化の目標値は各市町村ごとに、本連合のごみ減量目標が達成できるように別途定めていただく予定です。</li> <li>本連合としては、将来施設運営に係る各市町村の負担金の算出において減量成果を反映できるものになりたいと考えています。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの堆肥化、或いは畜産への利用策の検討は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの市町村での取組みとなりますが、生ごみ処理機の普及や千曲市での堆肥化施設、公共施設の生ごみの堆肥化等について計画に記載しています。</li> </ul>

No.	意見の概要	回答
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの水切り推進協力の啓蒙推進策は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面は各市町村で取組んでいただく課題であると考えています。</li> </ul>
11	<p>削減目標及び処理量について</p> <p>削減目標を平成15年度に対し、家庭系10%、事業系15%としているが、この目標はあまりにも低いのではないかと。その理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市では16年度からプラスチック容器の分別を行っており、それだけで家庭ごみが10%削減できたという報告を聞いている。</li> <li>・長野市では剪定木を、薪ストーブ利用者に引き取るよう働きかけたところ、申し出が予想以上であったとの報道で、今後可燃ごみが削減される。</li> <li>・生ごみについては、長野市では様々な生ごみ堆肥の普及や二次生成物の引取りをはじめ、千曲市では今後生ごみを100%堆肥化することを新聞で報道している。</li> <li>・事業系一般廃棄物も、一般の集積場に出せないのが逆に分別の不徹底になっているように思う。事業者責任と減量に向けた実行のある施策が必要と思う。</li> </ul> <p>その他、地域で様々なごみ減量の取り組みが行われているし、もっと行う必要があると思う。</p> <p>以上の理由から減量の見直しはあまりにも低く、550トンの処理量は過大だと思う。まして、1施設目を450トンと言うのは、2施設目は建設しないと言う考えからなのか、それともごみの減量について消極的なのか。とても納得できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本連合は、可燃ごみを安全かつ安定して処理できる施設を整備し、これを円滑に運営をしていく責務を有しています。</li> <li>また、構成市町村はそれぞれのごみ減量施策を実行、推進しなければなりません。したがって、本連合としましては、市町村が可燃ごみの減量に取り組むにあたり、実現性のある具体的な数値目標を設定したものです。</li> <li>この減量目標を設定するにあたっては、プラスチックの分別や生ごみ堆肥化等を考慮してあります。</li> </ul>